

平成26年4月1日

## 八王子市市民活動支援センター

### 平成26年度事業計画

八王子市市民活動支援センター  
センター長 大山 健三

#### ○支援センター事業基本方針

八王子市市民活動支援センターは、社会貢献、地域活動の担い手である市民や団体が気軽に立ち寄れる情報交換・交流・作業の場であると同時に、NPO団体に引続き求められる 基盤強化による継続性や信頼性向上のため、人、物、資金、情報などの情報提供や相談対応を行って活動支援しています。今年度も引き続き、行政を含めた様々なセクターや指定管理者である特定非営利活動法人八王子市民活動協議会が行う関連事業と連携・協働し、現在の社会環境に対応した具体的で効果的な支援、サービスを提供し、市民活動の中間支援施設としてその責務を果たしてまいります。

今年度は、下記重点目標をもとに具体策に取り組みます。

#### ○重点目標

- I. 市民やNPOの自発的な地域貢献活動を支援し市民力・地域力を育成します。
- II. 市民協働のまちづくりを担うNPOの活動を支援します。
- III. NPO相互交流の促進や市民、行政、企業、大学、町会・自治会、諸団体とのネットワークの形成とパートナーシップを育成します。
- IV. NPO団体の基盤強化による持続可能性や信頼性の向上、寄付社会に向けた環境づくりをお手伝いします。
- V. 支援センターのサービス機能向上に努めます。

#### 1. 機能の充実と強化

- 1) NPOの“プラットフォーム”的存在として、相談、コーディネート機能等、中間支援施設としてのスキルアップや市民活動の啓発活動、ニーズに対応した情報収集と発信等、一層の充実を図ります。また、NPO団体、その他多様な団体との関係構築を推進します。
- 2) NPO活動の基盤強化や信頼性向上を目的とした「ゆめおりファンド」(物の提供仲介機能)を推進することで、市民、NPO団体、大学、企業との相互連携や地域資源の有効活用に努め、寄付文化の環境づくりのお手伝いをします。
- 3) 市民やNPO活動サポート機能及び施設利用者の顧客満足度の向上を図ります。
- 4) 業務の改善と効率的運営で経費の節減に努めます。
- 5) 支援センタースタッフの教育研修と人材育成に努めます。

#### 2. 企画運営会議

八王子市民活動協議会と四半期毎に1回、企画運営会議を開催し、効果的な事業推進を討議すると同時に、支援センター当面の課題だけでなく、中間支援施設として、地域の市民活動を取り

巻く環境に対応した中長期的、未来志向の企画運営について討議します。

### 3. 情報セキュリティー委員会

個人や団体の情報を多数預かる支援センターはその情報管理に大きな責任があるとの認識から、支援センター個人情報保護方針に基づき、情報セキュリティー委員会を定期的で開催します。また、毎年の監査結果を受け、指摘事項に対応するとともに、スタッフを対象にした教育研修会を開催し、法令及び支援センターの情報セキュリティー管理マニュアル等の遵守を徹底します。

### 4. 八王子市環境マネジメントシステム（LAS - E）への対応

八王子市が取り組んでいる八王子市環境マネジメントシステム（LAS - E 第3ステージ＝市民・事業者やパートナーシップ組織による環境保全活動）に基づき、連携、協働のきっかけづくりを推進します。また、講師を招いた環境マネジメントシステム研修会等を実施し、スタッフの環境知識習得、意識の向上、業務の改善を図ります。

### 5. 相談業務とNPO経営支援

相談業務に当って、相談者に寄り添い、受け止めるという基本的な手順とともに、相談内容の高度化やニーズの多様化に対応するため、スタッフのスキル（専門知識、情報処理能力、人脈ネットワーク等）アップでタイムリーな課題に対する対応能力向上に努めます。そのため、外部研修、現場体験、職場内OJT、そして人的ネットワークの活用により人材育成を進めます。専門相談（税制、司法、労務等）は提携の外部組織に協力を求めます。同時に、今年度よりNPOの経営支援アドバイザー派遣制度による、NPO活動の経営支援にも取り組みます。また、相談業務では、NPO活動内容が行政制度や行政関連部署が複数にわたる等多様化の傾向もみられることから、適切で効果的な対応をするために、今年度は八王子市の様々な組織・部署の方において頂き講座を開催し、スタッフの相談対応力を高めます。

### 6. 調査・研究事業

利用者のニーズと期待に対応したサービス向上のため、毎月開催の諸講座（アクティブ市民塾等）の「アンケート調査」や年1回実施の「市民満足度調査」等の調査結果を集計、分析し公表します。また、八王子におけるNPO活動の実態やニーズを調査し、今後のNPO活動支援に資する研究やアンケートの実施を検討していきます。

### 7. 施設運営管理

引き続き、施設管理（掲示ボード、パンフレットラック、書籍、グリーンファイル、諸研究資料等閲覧コーナー、機材機器貸し出し、貸し会議室、印刷コーナー、入退室管理等）を適切、効果的に行い、顧客対応力を向上し利用者の利便性や満足度の向上を図ります。

### 8. 施設の安全、危機管理体制

当センターは不特定多数の市民や団体の方々に多数利用頂いていることから、ビル管理会社（大星ビル管理㈱）の管理指導のもと、消防法に定められた自衛消防訓練（消火、避難、通報、安全保護等）への参加や防火上必要な教育研修等に参加して危機管理能力を高め、施設利用者の安全確保等、施設全体の安全管理体制を整備します。

### 9. モニタリング制度への取り組み

指定管理施設に対する八王子市のモニタリング事業評価制度への対応について、委託契約業務の遂行はもとより、年度計画事業の確実な実行により外部評価に耐えうる支援センター運営を目

指します。また、評価結果はこれを真摯に受け止め、スタッフで共有化、市民サービスの向上、施設運営管理に効果的に活かしていきます。

## 10. NPO活動団体の基盤強化支援の充実

市民活動団体の基盤強化・信頼性の向上は、市民活動が活性化し、また社会的認知を向上して行くためには避けて通れないことであり、その自立支援をさらに強化します。具体的には事業計画の立案、組織運営、広報活動、会計業務等実務能力向上に向けた講座「パワーアップ講座」を新たに実施します。

### 11. 総務部計画

1) 平成26年度事業報告書を作成

2) 平成27年度事業計画書、予算案を作成

3) 平成26年度スケジュール表を作成

4) 「センター事業報告書」の作成

①四半期毎の報告書（7月・10月・1月） ②前年度報告書冊子（6月）

5) 八王子市との連携・情報交換の実施

6) 施設管理

①施設、付帯設備、物品管理、出退管理

②施設等の提供…会議室、印刷機、プロジェクター等の貸出予約受付、利用記録管理

③省エネルギー対策の実施

7) 経理処理

毎月の給与計算、入出金管理、振込業務、物品購入管理など、経理処理の明瞭、明確管理による適正な予算執行

8) 毎月のセンター会議の円滑な運営

9) 物品その他管理品の棚卸しを実施（年1回）

10) 指定管理者・モニタリングへの対応

11) 「団塊世代等地域参加支援に関する情報交換会」への参加

12) 6市・市民活動連絡会に参加し中間支援組織間の情報交換

13) NPO経営支援アドバイザー制度の運営

14) 各部との連携・情報交換を実施

①各部の事業計画推進を側面支援、アドバイス

②各部会への参加

15) 大学インターンシップ制度への受入れ協力

16) 市内中学校職場体験の受け入れ、プログラムの作成

17) 視察・見学訪問者の受け入れに対応

18) 日勤、夜勤、サポートスタッフの職務確認・連携・コミュニケーションの向上

19) 各団体、関係部先講座、委員会等への講師、担当者派遣

20) 市民活動フェスティバルの開催

21) サポハチカフェの開催

### 12. 啓発部計画

啓発部の定義・活動内容・頻度・対象は次の通りです。

講座名	目的・内容	頻度/年	対 象
1. 「アクティブ市民塾」	市民活動団体の活動紹介	12回	市民と団体
2. 「市民活動実践講座」	市民活動に役立つ情報提供やレベルアップなど	1回	同上
3. 「市民活動支援講座」	市民団体間の交流や情報交換の促進	2回	テーマごとに選定
4. 「NPOパワーアップ講座」	市民活動団体の基盤強化	8回	市民活動団体

#### (1) 各講座内容

##### 1) 「アクティブ市民塾」

今年も例年同様、広い分野で活発に活動している市民団体の紹介と市民との交流の場として、毎月1回・新規の市民団体を中心に開催します。アクティブ市民塾は、市民と団体の交流の場を通して団体を紹介・支援し、その活動の意味や素晴らしさをお伝えするとともに様々な市民活動への理解者や賛同者・協力者の増加、市民力の強化を目指します。

##### 2) 「市民活動支援講座」

昨年度に実施した団体間の交流支援に対する参加団体の反響は概ね好評であり、日常の活動の中では自団体活動の周辺の情報収集や協力態勢についての要望もあることから、引き続き市民活動団体の自主的な交流、連携のきっかけづくりを通して、各分野内や地域の活動活性化支援を行います。

##### 3) 「市民活動実践講座」

市や多くの団体が様々な講演を実施していますが、市民活動団体の中間支援施設ならではの効果的で、特色のある講座を企画していきます。工数や予算面の制約も考慮しながら効果的な講座の開催を行います。

##### 4) 「パワーアップ講座」

市民活動団体運営基盤の強化、信頼性向上を狙いとし、継続的活動をしていくための自立支援を目的とした、具体的で実質的な講座を連続講座として開催します。

#### (2) その他

支援センターのホームページ上に啓発事業の活動コーナーを設け、市民や団体の方々により効果的な発信をしていきます。

### 13. 広報部計画

#### (1) 紙面装丁の改善

「SUPPORT802」題字の占める範囲が紙面の約1/5を占め、掲載内容の見出しを圧迫して記事が目立ちにくいいため、より多くの方に関心を持って機関紙を手にとっていただけるよう、題字の面積を小さくして掲載記事が目立つよう改善します。

#### (2) 掲載記事(1～2面)

定型化せずに、その時点のトピックスなどを自由に効果的に掲載し、特に、下記視点を考慮しながら、記事構成を検討します。

①大学、企業の社会貢献活動、地域との協働の取組み紹介

- ②NPO運営に関わる情報の掲載
- ③地域活動、市民活動のトレンド紹介等

### (3) 新規取組み

情報発信手段として、「広報誌」、「メルマガ」以外のWEB媒体についても検討し、広報としての情報発信力を高めてまいります。

## 14. 情報部計画

### (1) ホームページ発信力の充実

HPは支援センターの様々な支援事業を発信すると同時に、多様な市民活動団体のイベントや活動紹介、そして助成金を含めた支援情報等の発信媒体でもあるため、引き続きHP来訪者が検索し易い画面作りとタイムリーな情報掲載に取り組みます。また、今年度から契約関係の変更により、Webサイト管理会社と直接協議が可能となったことから、さらに迅速で効果的なHPの運営管理を行います。

### (2) システム&ネットワークLANの維持管理

システム&ネットワークLANやデータの維持管理について、非常時の対応や効率的なデータ保管を行うとともに、支援センター業務に支障をきたすことのないようITに関する情報収集やサポート体制を整備します。

### (3) 保有データの有効活用システム構築の検討

求められるニーズに合ったサービスの提供や掘り起こしなど、今後に向けた中間支援施設として、保有データの効果的な利用環境を構築したいとの考えから、データ統合管理システムとして「Salesforce」（日本語版はFundrexDRM基本パック）の導入を検討します。導入準備として、導入項目・スケジュール等を含め具体的な計画の立案を行います。

## 15. ファンド部計画

NPO活動にはその基盤強化による継続性や信頼性の向上が一層求められています。ファンド部では、市民活動団体の継続的な地域活動支援及び地域資源の有効活用を目的に団体活動の一定のアカウントビリティ（説明責任）を条件に、企業や大学、団体より寄付を受けた物品を無償提供し、市民活動団体の基盤強化の支援を行っています。今年度も、「ゆめおりファンド」の趣旨を発信し、市民活動の活性化、信頼性向上を支援するための事業を推進し、同時に、今後、人財や資金支援についても八王子市や八王子市民活動協議会その他、企業、大学等と連携しながら、調査・研究を進めていく予定です。

### (1) 物支援の安定化

#### 1) 寄付元企業・団体の開拓と在庫安定化

##### ①地元企業・団体

信用金庫、組合、農協、商工会議所等との連携、協力によりゆめおりファンドへの関心度を高めるとともにCSR活動や寄付文化醸成に向けて働き掛けを行っていきます。

##### ②企業・リース会社・大学・個人

コストと環境の観点からリユース、リサイクルが拡がっており物品寄付の量的減少も想定

されることから、リース会社を含め多様な寄付元の開拓を行っていきます。

(2) ゆめおりファンド参加団体の増加とCANPAN情報開示レベルの向上

①昨年実施した「ゆめおりファンドに関する調査アンケート」で、ファンドを今後利用してみたいと回答した38団体を重点にさらに加入団体を増やしていきます。

②八王子でCANPANに登録している団体は87団体の内でゆめおりファンド未参加49団体について、積極的に参加を勧めて行きます。

(3) CANPAN情報開示レベルの向上(★★★化推進)

CANPAN登録の星(★)が1つ、2つの31団体に対してゆめおりファンドとCANPANの関係、メリットを改めて理解いただくことで開示度アップを促進します。

(4) ゆめおりファンド参加団体交流会

ゆめおりファンド参加団体の交流を深め情報交換する場として交流会を企画し団体間の連携、ゆめおりファンドの活性化を目指します。

(5) ゆめおりファンド関係情報データベースの維持改善

1) 現ホームページの更新

現在、支援センターHP上で提供実績が主となっている実績報告に、寄付実績も表現したり、提供申込書を直接ダウンロードできるようにする等、寄付者、受領者双方にとって利用しやすく効果的な情報開示ができるサイトへの改善を検討します。

2) CANPAN団体情報更新支援

CANPAN登録情報更新は、様々な理由により多くの団体で定期更新がなされていない面があるため、登録維持メンテナンスについて一定のサポートを検討する予定です。

(6) 各種ゆめおりファンド運用基準・規程等の再整備その他

ゆめおりファンド導入5年経過の中、その趣旨の再確認や現在ニーズに対応できる物支援事業にすべく、効果的で魅力ある制度を目指して検討を加えて行きます。

以 上